

会議の経過

川野 課長	<p>1 開会</p> <p>皆様、こんにちは。定刻となりましたので、只今から令和3年度第2回大井町総合教育会議を開催いたします。私は、本日、司会を務めます総務課長の川野と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、皆様、御承知のとおり、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、まん延防止等重点措置が適用されていますが、本日の会議につきましては、感染拡大防止対策を施したうえで、開催させていただきました。なるべく短時間での協議とさせていただきたいと思いますので、御理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議につきましては会議録作成のため録音させていただきますことを御了承ください。</p> <p>それでは早速、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>「次第2 町長あいさつ」 小田町長よろしくお願いいたします。</p>
小田町長	<p>2 町長あいさつ</p> <p>皆様、こんにちは。日頃は、町の教育行政に御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本日は、今年度2回目となる総合教育会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>この総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とした協議と調整の場でございます。</p> <p>教育は人づくりにおいて、大変重要な要素でありますし、教育というカテゴリーに含まれる分野が実に幅広いものであるということを考慮いたしますと、ここにお集まりの教育委員の皆様方と、町の教育について協議を尽くすことは大変有意義であり、まん延防止等重点措置が適用されているところではございますが、教育のあるべき姿を共有するためには必要不可欠なものと判断し、開催させていただきました。</p> <p>本日は、今年度実施された「全国学力・学習状況調査結果の分析」及び「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」について協議させていただきます。</p> <p>限られた時間ではございますが、忌憚のない御意見をお聞かせくださるようお願いいたします。私からのあいさつといたします。</p> <p>本日は、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

川野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者につきましては、御手元に配布させていただいた次第の裏面にございます「出席者名簿」のとおりとなっています。本日は、全員の出席をいただいていますので、この場をお借りして御報告させていただきます。</p> <p>それでは、「次第3 協議・調整事項」に移ります。大井町総合教育会議運営要綱第2条第1項の規定により、議長は町長となりますので、これからの進行は小田町長にお願いいたします。</p>
小田町長	<p>それでは、私が議長を務めさせていただきますが、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただくことがあろうかと思っておりますので、予め御了承ください。</p> <p>それでは(1)「全国学力・学習状況調査結果の分析」について協議したいと思います。</p> <p>まずは、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p>
	<p>3 協議・調整事項</p> <p>(1) 全国学力・学習状況調査結果の分析</p>
大川指導主事	<p>(※パワーポイントで、令和3年度の全国学力・学習状況調査の結果に基づく分析を説明した。)</p>
小田町長	<p>それでは、ただ今の説明を受けまして、この件について詳しく聞きたいことや質問などがありましたら御発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
小嶋委員	<p>「自己肯定感」や「自己有用感」の低さと難しい問題に対する無回答率の高さは関係しているのではないかと感じました。</p> <p>小・中学校で、どちらも「他人に対して思いやる」というところは高く表れていますが、自己に対する肯定感や有用感は低い結果となっています。これは大井町特有なのか、それとも大井町に限らず新型コロナ感染症の影響により全国的にそういう傾向なのかを教えてください。</p>
大川指導主事	<p>「自己肯定感」や「自己有用感」は、大井町に限らず一般的にも低い傾向があります。</p> <p>また、自分の思っていることや感じていることを表現するという項目について、県内を見ても肯定的回答が低い傾向となっており、県としても改善に向けた活動として、リーフレット等を作成して促しています。</p> <p>そのため、本件は大井町特有ではなく、世間全般的なものと同えます。ただ、人との関わりの部分で肯定的回答が高いものに関しては、授業づくりの部分で、町としても研究し、協働学習や学びあいに取り</p>

<p>中 條 委 員</p>	<p>組んできたことや道徳性の育成を推進してきた結果が伺えました。</p> <p>自己肯定感は前々から気になっていまして、例えば、アメリカは多様な人種で構成されているので、自己主張しなければ生きていけない国だと感じますが、逆に日本は、これまで他人と違うことをしているとそれだけではじかれたり、思っていることを素直に発してしまうと冷たい目で見られたりするというような空気があったと感じます。最近は大分変わってきているとは思いますが、自分の思っていることを堂々と言っても疎外されないような空気を学校や家庭で醸成していき、皆で認め合っていくという形になっていかなければならないのではないかと感じています。</p> <p>また、子どもたちが、「自分は周りから認められているんだ」、「愛されているんだ」、「自分の存在が大切にされているんだ」といったことを感じられるようになるには、学校だけでは限界があると思います。小さい頃から、家庭で親が子どもに声かけしてあげること等は非常に大きな影響を及ぼすと思いますので、子育ての部分とも連携しながら、難しいとは思いますが、地域全体でそういう空気を作っていくことが大切だと感じています。</p>
<p>小 田 町 長</p>	<p>大変貴重な御意見と感じています。価値観と言うと大げさかもしれませんが、お互いの主義主張を許容し合える社会環境を築いていくことが大切だと思いました。</p>
<p>小 島 委 員</p>	<p>平日1日あたりのゲーム時間に関わる項目について、大井町では「2時間以上」の回答割合が県平均よりも高いと伺いましたが、ゲームの時間が長くなると学習する時間が短くなってしまふのは当たり前だと思います。学校生活の中で、新型コロナ等の影響により規制されることが多く、十分満足いかない状態で家に帰り、ゲームに頼ってしまうのかなと感じます。今のゲームは一人でするのではなく、離れた友達と楽しむことができるものとなっており、ゲーム時間の長さについて、指導される家庭としない家庭があるかと思いますが、家庭教育という視点から学校からはこういった働きかけをしているのでしょうか。</p>
<p>大川指導主事</p>	<p>ゲームの時間に関しての指導はしてないと思います。しかしながら、大井町では情報モラル教育の観点から、中学校では毎年、小学校ではローテーションで、(株)教育ネットに依頼してICT機器の扱いやモラルの調査を行っています。その調査に基づき、子どもや教師、保護者に対して注意・啓発するなかで、ゲーム等の時間にも触れていると聞いていますが、ゲーム時間について、教師は直接指導をしていないと思います。</p>

小田町長	<p>モラル教育で指導はされているとは思いますが、ゲームを夜遅くまでやることで、日常生活や学校生活に支障をきたす恐れがあることをしっかりと子どもに伝える必要があると感じますが、皆さんの見解はいかがでしょうか。</p>
夏苺教育長	<p>コロナ禍において、子どもたちの生活は大きく変わってきているものと想像します。家庭にいる時間が増えれば、どうやって過ごすかということになるかと思えます。その選択肢の一つとして、ゲームで息抜きをすることもあるかとは思いますが、大事なのは、限られた時間をどう使うかということだと思いますので、ゲームの時間がどれだけということではなくて、自分でどのように時間を使うか、どういった時間の活用ができるかを考えることができるように育てていくことが大事だと思います。家庭生活にどれだけ行政が立ち入れるかというのはありますが、課題の一つとして捉えていかなければならないと感じています。</p> <p>また、先ほど挙げた「自己肯定感」や「自己有用感」の関係については、子ども同士のコミュニケーションの時間が削がれていることも関係していると思います。コロナ禍において、オンライン学習となったり、社会も仕事の仕方が変わってきた中で、今後どのように定着していくのかは関心がありますが、学校現場においては、ICTで全てが出来るような風潮となっていることを危惧しています。コロナ禍により対面授業やハイブリッド型の授業という形式も生まれましたが、今まで当たり前だった集団で協議して解決の方法を見出していくという対話的な学びの場が削られてしまうことで、「自己肯定感」や「自己有用感」を感じる機会が少なくなってしまうものと感じます。</p> <p>そうした中で、大井町においては、道徳教育に引き続き力を入れていき、子どもたちの気づきや道徳的な価値を見出していけるような育成をしていかなければならないと思っています。</p>
小田町長	<p>対面による学びの場において、表情を見たり、雰囲気を感じながら子どもたちが意見を言い、また聞くことで、相手や自分を大切に思う気持ちが育まれていくものと改めて感じ、そうした教育も必要であると思いました。</p>
夏苺教育長	<p>話題は変わりますが、調査問題で三角形の面積の求め方が話題になりました。三辺の長さを全て乗じて2で除する回答があったということですが、公式だけ何となく憶えている子どもがいるのではないかと思います。公式よりもどのように答えを導き出すかのプロセスが授業には必要となる場所ですし、そのプロセスを教育現場で大切にしてきたと思います。しかしながら、こうした結果が見受けられましたので、引き続き</p>

	<p>そうしたプロセスに努めなければと感じました。</p>
小田町長	<p>それでは、この件についての協議は、このあたりで終了とさせていただきます、次の協議・調整事項に移ります。</p>
	<p>(2)「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」について協議したいと思います。まずは、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p>
山崎社会教育主事	<p>(2) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動 (※パワーポイントで、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について概要や今年度の成果と課題について説明をした。)</p>
小田町長	<p>それでは、ただいまの説明を受けまして、さらに詳しく聞きたいことや質問などがありましたら御発言いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
牧野教育長職務代理者	<p>コミュニティ・スクールについて、学校運営協議会の主な3つの役割の説明がありましたが、その中で教職員の任用に関する項目についてですが、協議会が任用を決めるということでしょうか。</p>
山崎社会教育主事	<p>大井町の学校運営協議会の位置づけとしては、学校運営を前向きに行っていくための組織であり、教職員一人ひとりに対する個人的な内容は扱いません。学年主任ができるリーダー性を持った教員や地域連携のための社会教育主事の資格を有する教員の配置など学校運営が円滑に進むような意見を集約して、教育委員会に提案していく活動を行っています。</p>
牧野教育長職務代理者	<p>承知しました。教職員の任用に関して、その記載内容が独り歩きしないように努めていただきたいと思います。</p>
小田町長	<p>教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができるかとありますが、具体的にはどういうことでしょうか。</p>
夏苺教育長	<p>教職員の分限や懲戒は対象外です。また、勤務条件などについても意見することは対象外です。学校運営協議会の任用に関する部分の役割としては、教職員の配置などの観点から意見をすといったことです。</p>

中 條 委 員	<p>大井町では、これまでも地域の色々な方々が学校の教育活動に参加して教育活動に携わってきた経緯がありますし、学校の方も、学校の教育活動が分かるように「学校だより」を自治会回覧などを通じて広報していただいております、地域と学校とで良い関係が築かれているものと感じます。</p> <p>ただ、ここで地域学校協働活動が出てきたことを踏まえると、今まで以上に地域ぐるみで子どもたちを育てていくことが必要かと感じます。先生方も忙しいとは思いますが、先生方が皆この部分をもっと理解することが大事であり、地域においても、これまで学校の教育活動に参加してきた方々は一部です。もっと多くの地域の方々に参加してもらうことが大事です。そのためには、周知が必要であり、周知といっても多くの地域の方々が参加していただくことが大事なので、例えば花壇の整備など、ハードルを下げるような活動についての広報やこの地域学校協働活動の仕組みを分かりやすい言葉で説明するような広報も必要かと思えます。</p> <p>そして、この活動が広がっていくことで将来的に町に愛着のある人材が育っていく気がします。</p>
小 田 町 長	<p>今の御意見のとおり、多くの町民の方に理解していただけるように、周知していく必要があると思いますが、いかがでしょうか。</p>
山崎社会教育主事	<p>この制度を始めるにあたっては、「学校だより」などを通じて各学校から周知している部分はありますが、町としても、この活動の事や地域学校協働活動推進員の事などを、中條委員の御意見のとおり、より多くの方々へ分かりやすい表現で周知していきたいと思えます。</p>
小 嶋 委 員	<p>先ほどの学力調査でも「読むこと」の領域での課題が多く挙がっていましたが、今年度、地域学校協働活動において読書活動を主に推進し、学校司書さんや図書ボランティアの方々との連携により大きな成果が上げられたとの説明を受けました。学校司書さんを配置いただいたことなどについて、保護者の一人として感謝いたします。</p> <p>また、今年度から各学校に学校司書さんがきていただいて、図書の整理やレイアウトを変更したりするなど、子どもたちが利用しやすいように考えてくださっていますが、図書室に訪れる子どもが増えたなど、実際の子どもの反応はいかがでしょう。</p>
山崎社会教育主事	<p>子どもたちの反応としては、学校司書さんに積極的に質問するなどの光景が増え、関心が上がってきているのではないかと聞いています。</p> <p>また、学校司書さんを担っていただいている方にも地域学校協働活動</p>

夏苜教育長	<p>推進員として配置させていただくことで、ボランティアさんとの関わりや町との本のやりとりなどがスムーズに出来たと感じます。</p> <p>コミュニティ・スクール、地域学校協働活動や推進員について、導入することは出来ましたが、これにつきましては、これまで取り組んできたことを枠に当てはめることが出来たので、スムーズにいったと思います。</p> <p>しかしながら、今年度においては、周知が足りず、地域の方に誤解を招くような事例もあったことから、引き続き周知に努めていかなければと感じています。</p> <p>文科省が進めるこの制度は、理想の高い部分がございますが、その方向をみざしていく中で、今後も地域に応じて取り組んでいくことが重要なことだと感じています。</p>
小田町長	<p>これまでボランティアさんは誰でも出来るのでしょうか。人数制限もあったのでしょうか。</p>
夏苜教育長	<p>学校が必要としている内容のボランティアについて学校だよりなどを通じて募集していますが、各ボランティア団体は、PTAの役員や保護者など学校と関わっていた方々がほとんどです。そのため、中條委員から御意見あったとおり、今後はもっと広く周知、募集をし、必要に応じて取り組んでいかなければならないと思います。</p>
小田町長	<p>そうしたコーディネートや運営の窓口はどこが担うのでしょうか。</p>
夏苜教育長	<p>生涯学習課を主に小・中学校の各学校の推進員に集まっていいただいて運営しています。また、各学校が単独で行うのではなくて、全体でそうした活動をしていければと思います。</p>
中條委員	<p>地域をどのような枠組みで考えるかは難しいのですが、例えば小田原の中学校数は11校ありますが、地域学校協働活動をまとめるとなると大変だと思います。しかしながら、大井町は中学校が1校ですから、この活動が良い方向に行けば、町づくりにも繋がっていくと思いますので、期待をしています。</p>
夏苜教育長	<p>今回、大井町においてコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進してきまして、周りの自治体から反響があったとの報告を山崎社会教育主事から受けていますので、この場で改めて報告させていただければと思います。</p>

山崎社会教育主事	<p>近隣2市8町のなかでは、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を「一体的に推進していく」とした自治体は、本町と小田原市と山北町を含めた3自治体ですが、コミュニティ・スクールの立ち上げとともに地域学校協働活動推進員として教育委員会から委嘱して実際に取り組んでいる自治体は、大井町を含め県内では少ないです。そのため、これから立ち上げようとしている自治体から何件か問い合わせが来ています。</p> <p>また、一体的に推進することが出来ましたが、一番のメリットとしては、地域学校協働活動推進員が学校運営協議会に参画して地域と学校をつなぎながら取り組むことが出来ていることだと思います。近隣ではコミュニティ・スクールやスクールコーディネーターだけ立ち上げている自治体はありますが、本町においては、学校運営とともに地域活動につなげていくような一体的な推進が出来ているため、そこがメリットだと思います。</p>
小田町長	<p>それでは、この件についての協議は、このあたりで終了とさせていただき、次の協議・調整事項に移ります。</p>
小田町長	<p>(3)「その他」ですが、教育委員の皆様から、何かこの場で協議の必要がある案件がございましたら、御発言を願いたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>(3) その他 ※協議事項なし</p>
小田町長	<p>それでは、協議すべき事項が特にないようですので、これで議長の任を解かせていただきたいと思います。貴重な御意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。それでは、司会に進行を戻します。</p>
川野課長	<p>4 閉会</p> <p>短時間での開催に、御理解と御協力をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>さて、この総合教育会議は、年間2回の開催を定例としていますので、今年度の総合教育会議は今回が最後となります。来年度につきましても、期日等が具体的になりましたら、お知らせいたしますので、その際は、御出席について御配慮賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、これもちまして、令和3年度第2回大井町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p>